

気象情報を有効に使おう!

《1》事前に気象情報や雷注意報を確認しよう!



屋外活動の前には、天気予報や雷注意報をチェックしましょう。

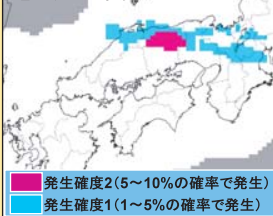
- ◆雷注意報は雷や竜巻が発生する数時間前から発表します。
- ◆雷注意報の発表中は溪流・河川敷や中州・親水公園などでの活動はさげましょう。
- ◆気象状況は、テレビやラジオのほか気象庁ホームページでも確認できます。

注意報・警報のホームページ <http://www.jma.go.jp/jp/warn/>

《2》ナウキャストで最新の状況を確認しよう!

ナウキャストは、10分毎に最新の状況から60分先まで予報します。

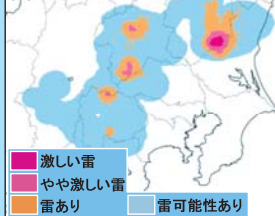
竜巻発生確度ナウキャスト



(平成22年5月開始)

激しい突風の発生する可能性の高さに応じて、発生確度1、2で表します。

雷ナウキャスト



(平成22年5月開始)

雷の活動の激しさを表します。今後雷の発生する可能性が高い領域も表します。

レーダー・降水ナウキャスト



雨の降る場所や強さを表します。

屋外で活動する場合は、**ナウキャスト**により、**竜巻、雷、強い雨**の最新の状況や予報に注意しましょう。

《3》積乱雲が近づいてきたら建物に避難しよう!

こんな時、発達した積乱雲が近づく兆しです。**竜巻、雷、強い雨**の危険があります。

- ◆真っ黒な雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ◆雷鳴が聞こえたり、電光が見えたりする。
- ◆ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ◆大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

運動場など開けた場所や水辺は危険です。すぐに避難しましょう。



平成22年5月
雷・竜巻の1時間先までの
予報を開始

積乱雲(入道雲)の下で竜巻・雷・強い雨が発生し、大きな被害につながります。

竜巻が発生することがあります。

落雷の危険が高くなります。

晴れていても、急に増水することがあります。

積乱雲に伴って、このような災害が発生します！

被害をイメージして
回避しよう！

竜巻による災害

●建物の倒壊



●屋根瓦が飛散



●飛来物の衝突



他にも…

- 電柱・樹木の倒壊
- テント等の飛散 など

強い竜巻では列車や自動車
が転覆することもあります。

平成18年9月17日宮崎県延岡市で発生した竜巻による被害

雷による災害

●落雷

まわりより高い所
に落ちやすい！
↓
周囲が開けた
場所は危険！



音羽電機工業株式会社“雷”写真コンテスト提供 マネキン人形を使った側撃雷の実験 (電力中央研究所提供)

●側撃雷

木の幹や枝から
雷にうたれることも！
↓
木のそば
は危険！



⚠️ 雷に注意が必要
ゴルフ・サッカー・野球などの屋外スポーツ
公園、海・山におけるレジャー など

危険な場所や
状況は…

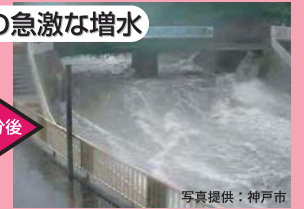
⚠️ 雷と増水に注意が必要
溪流・河川敷・中州・親水公園における
釣り・キャンプ・バーベキュー・水遊び など

局地的大雨による災害

●親水公園の急激な増水



写真提供：神戸市



写真提供：神戸市

数分後

●地下施設への流入



写真提供：九州地方整備局防災課

竜巻が間近に
迫ったら…

雷から身を
守るには…

危険な状況を
避けるには…

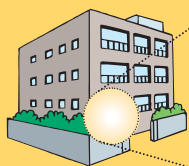
1 頑丈な建物の中へ避難

- 避難するときは屋根瓦などの飛来物に注意しましょう。
- 避難できない場合は、物陰やくぼみに身をふせましょう。

危険! X 車庫・物置・プレハブ(仮設建築物)への避難は危険です。

2 屋内でも窓や壁から離れる

- 家の中心部に近い、窓のない部屋に移動しましょう。
- 窓、雨戸を閉め、カーテンを引きましょう。
- 頑丈な机の下に入り、頭と首を守りましょう。



1階の窓の無い部屋へ



窓のある部屋では
カーテンを閉め、
窓から離れる

1 雷鳴が聞こえたらすぐ避難

- 雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいてきます。屋外にいる人は安全な場所に避難しましょう。

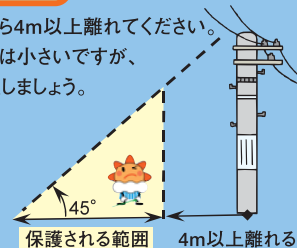
2 建物の中や自動車へ避難

- 建物や屋根付きの乗り物(自動車など)へ避難しましょう。

危険! X 雨宿りで木の下に入るのは危険です。

3 木や電柱から4m以上離れる

- 側撃雷の恐れがあるので、木や電柱から4m以上離れてください。右の図の三角の範囲内は比較的危険は小さいですが、なるべく早く屋内の安全な場所に避難しましょう。
- 近くに避難する場所が無い場合は、姿勢を低くしましょう。



冊子「雷から身を守るには」(日本大気電気学会編集)から引用

1 雨が降り始めたり、空や川に異変を感じたら、すぐに水辺から離れる

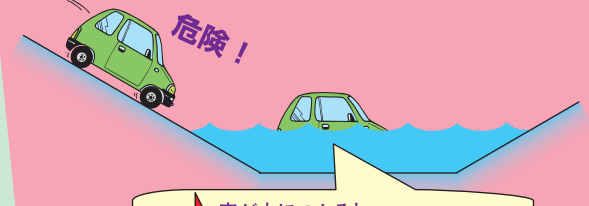
- 上流に降った雨で、急に増水することがあります。
- サイレンの音は、ダム放流の合図です。

危険! X 水かさが増え、濁ったり、木枝が流れてくる時は危険です。

2 浸水した場所に注意

危険! X 大雨のときは地下室や地下街は水が流れ込み、危険です。

- 浸水した道路では、側溝が見えずマンホールのふたが外れている場合もあり危険です。
- 地下を通る道路など低い場所では通行に注意が必要です。



危険! 車が水につかると、
水圧でドアが開かなくなり危険です。